

なんか やってま〜す

～福祉委員情報紙～

ナンバー 012
発行 平成24年11月
発行元 福祉委員幹事会
(坂井市社会福祉協議会)

ある日の様子

ふれあいネットワーク1の部では、毎年8月末に三国神社の前で福祉委員、民生委員、区長、青壮年会、婦人会、社協等の協力を得て、「夕涼み会」を行っています。今年も、多数の来賓の方々をお招きし、大勢の住民の参加の上、無事終了することが出来、「ホッ」としております。

今回で21回目となりますが、「あい愛まつり」が終わり、休むまもなく準備に取り掛かり、数回の打合せやチケットの販売等を経て開催となりましたが、まだまだ完全とはいかず、今回の反省点等をふまえ、今後、ますます楽しい夕涼み会にしていきたいと思っております。

この会は1の部住民全体の唯一のふれあいの場であり、大変重要な位置づけとなっております。今後より一層多くの住民が参加できる会となるよう、みんなで知恵を出し合ってよりよい会にしていきたいと思っております。



福祉委員 井関 廣(丸岡町)さんに

聞いてきたぞ〜

地区の福祉、介護が歩き始めたころに役割を受けて十数年、ようやくその活動が安定し、皆様に認められるようになりました。活動中、お世話している方からお礼の言葉などを頂くと、これまでやってきて良かったと思うと同時に、それに対する役割の重大さもひしひしと感じています。課題はまだあります。高齢化社会と直面している現在、ますます必要になってくる地区の福祉、介護について、周りのスタッフと協力しながら一層努力していきたいと思っております。今後とも私たちの活動に対して皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

丸岡町磯部地区福祉委員会
代表 井関 廣

昔から「困ったときはお互い様」という支え合う言葉の中には、心と汗が滲んで相手に伝わり、「世話になって悪いのお、頼むぞあ」と了解の意味を込めたまなざしが交わされ、安心して暮らせる地域がありました。いつの頃からか、「他人に頼むのも、自分に頼まれるのも嫌やぞあ。何より若い者が嫌がるしのお」という地域に。人は群れて暮らすことで、優しさや強さが生まれたのではないのでしょうか。出来ることをできるときに出来る仲間と、地域にあつた取り組みをさりげなく、継続を第一に何かを始めましょう。きつと見守りのアンテナが高くなり、地域福祉に繋がると信じています。

春江町中部地区福祉委員会

代表 中嶋 圭子

ウラ面一言

福祉活動は息の長いもの。そのため、福祉委員の任期は、2ヶ年間です。

※詳しくはウラ面

幹事さんに
きいてみよう
～福祉委員制度～



年末へラストスパート 福祉委員制度再確認実施期間!!



今年もあっという間に年末が近づいてきました。福祉委員としてこれまで活動されてきた方も、これから活動する方も、ここで今一度福祉委員の役割を確認してみましょう。

福祉委員はなぜ設置しているの?!

現在は地域のつながりの希薄化により、様々な福祉問題の発見が遅れがちになっています。

坂井市社協では、より細かい単位で地域の見守り活動ができるよう、50世帯に1名以上、または各区に1名は設置という体制で、見守り活動のすそ野が広がるようにしています。

また、継続して福祉委員活動を行い、活動内容を理解していただくために、任期は2年間とし、途切れない活動を目指しています。

福祉委員の具体的な役割は?!

福祉委員の役割は主に2種類に分けられます。ご近所の困りごとを把握していき、区長や民生委員等に繋げる地域のアンテナ役。区内において福祉情報等の提供を行うお知らせ役。

地域全体の見守りを行っていくためには、福祉委員だけで活動を行うのではなく、区長や民生委員と連携しながら、地域みんなで安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう。

一人で抱え込まないことが大事ですね。



小さなことでも継続した活動が求められているんですね。



社協情報

掲載等のお問い合わせは

みくに支部	Tel	82-1170
	Fax	82-1593
まるおか支部	Tel	68-5060
	Fax	67-2950
はるえ支部	Tel	51-4545
	Fax	51-6269
さかい支部	Tel	67-0640
	Fax	67-2807

坂井町兵庫地区福祉委員会
代表 長谷川 宏真

地区の福祉委員を受けて5年目、この間、わからず戸惑いながら多くの方々に支えられ、自分に出ることを一生懸命させていだきました。また、自分たちでできる無理のない「身の丈」にあった活動を支えられながら続けてきました。

これからも、地区の福祉委員とお互いのつながりと思いやりを持ち、支え合いで活動を少しでも前進させていきたいと思えます。

今後の福祉委員活動